

# 株式会社フィスコ 第20期 株主通信

(自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第20期事業年度(平成25年1月1日～平成25年12月31日)が終了いたしましたので、同期における当社の事業概況についてご報告申し上げます。

また、平成26年3月27日には第20回定時株主総会を開催し、招集ご通知にてご案内のとおり、報告及び決議を下記のように行いました。

## 記

### 報告事項

第20期(自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)事業報告、計算書類及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件については、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、当期の期末配当金は17円に決定いたしました。

#### 第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

#### 第3号議案 取締役7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

#### 第4号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

#### 第5号議案 ストック・オプションとしての新株予約権を発行する件

本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

## ご挨拶



## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、誠に遺憾ながら第13期の配当を最後に、以後無配を続けておりました。この期間に、事業構造の転換、第三者割当増資による財務体質の強化、収益力の強化、M&Aによる事業の多角化に取り組み、安定的な事業収益基盤の確立を目指してまいりました。この結果、第20期の期末配当につきましては、1株当たり配当金は記念配当2円を加えて17円の復配を実施することができました。

これもひとえに、株主皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

これからフィスコグループは、売上高300億円以上、時価総額450億円～800億円を早期に達成することを目指してまいります。長年の金融情報配信事業で得た、ブランド力やネット上での圧倒的な知名度を活用して「上場企業のIR受託業務のトップランナー」となり、「上場企業の経営課題ソリューション企業」へと転身するよう努めてまいります。また自律成長のほか、引き続き低PBR・高キャッシュフロー企業へのM&Aを戦略的、かつ積極的に推進し、株主価値及び企業価値の大幅な向上を目指してまいります。

今後も株主の皆様のご期待に応えられるように真摯に経営に取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

株式会社フィスコ  
代表取締役社長

狩野 仁志

## M&Aを積極展開、新規サービス戦列化も業容拡大の一因に

金融情報会社のサードベンダーとして草分け的な存在であったが、株式市況の長期低迷を背景に業績が悪化、一時は早急な財務体質の改善が急がれる状況に陥った。その後、2010年3月にシークエッジインベストメントインターナショナルリミテッド（以下、シークエッジ）の子会社となったことで、自己資本の増強が図れるとともに、アジアを中心にシークエッジが持つ事業ネットワークを生かすことも可能になった。

これをきっかけに、構造改革の推進によって情報サービス事業の体質が強化されたほか、イー・旅ネット・ドット・コムグループ、ネクス<6634>、ダイヤモンドエージェンシーを株式取得によりそれぞれ子会社化と、M&A展開により事業領域を積極的に拡大させている。

2013年には、5月にコンサルティング事業を営むバーサタイル、11月には様々なIRツール・メディアなど多様なコミュニケーションツールの企画制作を営むダイヤモンドジョインの株式を取得。さらに、12月には、子会社のネクスが介護支援システムを提供するCare Onlineの株式を取得するとともに、情報サービス事業を手掛けるSJIの中部・関西・九州事業部におけるシステム開発事業の吸収分割契約を締結した。

情報サービス事業では、新規分野となる企業調査レポートサービスを新たなビジネスの中核と位置付け注力している。当該サービスでは上場企業の最新の決算状況中正・公平な視点で分析した企業調査レポートを一般の投資家に提供する

ものであり、日本語、英語、中国語などによる多言語での提供も可能となっている。今後はアナリストのカバレッジ対象となっていない企業の投資スタンダード資料となっていく可能性もあろう。

ユーザー数は、2011年12月期の約20社、2012年12月期の約60社に対して、2013年12月期は100社以上の上場会社から受注を獲得している。将来的には、証券会社のアナリストがカバーしていない上場会社、約2,000社がターゲットとなっていこう。また、企業調査レポートを就職情報サービスとして展開することも視野に入れており、この場合、上場会社以外に未上場企業10,000社も顧客対象となり得ることになる。

他の事業分野の成長戦略として、コンサルティング事業ではリクルート分野の開拓などを行っていく。インターネット旅行事業では、新たなトラベルコンシェルジュの採用や研修などスキルアップを図るほか、「こだわりの旅」の提案など質の高いオーダーメイド旅行サービスの提供に努める。広告代理業では、情報サービス事業の顧客やインターネットを中心とした配信媒体を複合的に活用して新規開拓を目指す。デバイス事業においては、注力するM2M (Machine-to-Machine) 市場において、産業分野への通信機能組み込みによる事業領域の拡大を目指すほか、介護業界のマーケットへの進出、ネクスの開発力とネクス・ソリューションズのソフトウェアの開発力を融合させて、システムを含めた総合的なサービス提供も行っていく。

事業系統図 (平成25年12月31日現在)



## 業績は大幅増収増益基調が継続、2013年12月期には7期ぶりとなる復配(含む記念配当)を実施へ

2013年12月期の業績は、売上高が6,681百万円で前期比65.3%増、経常利益が580百万円で同171.3%増と、大幅増収増益決算となった。経常利益は期初計画との比較で84百万円上振れる着地となっている。前第4四半期から連結化しているデバイス事業と広告代理業のフル寄与が大幅増収増益の主因だが、情報サービス事業に関しても、企業IR支援サービスの受注が大幅に拡大したほか、個人投資家向けサービスも投資環境が好転する中で新サービスの投入が奏効して大幅な伸びを示した。なお、2013年12月期末には17円配当(記念配当2円含む)を実施、2006年12月期以来、7期ぶりの復配実現となる。

2014年12月期も売上高が12,407百万円で前期比85.7%増、経常利益が1,302百万円で同124.5%増と大幅増収増益の見通し。SJIの西日本における営業拠点を承継したネクス・ソリューションズ(ネクスの子会社)、買収したIR支援ツールの制作会社であるダイアンドジョインのフル寄与などが見込まれるほか、主力の既存分野も続伸する見通し。情報サービス事業では、「企業調査レポート」を主軸とした企業IR支援サービスの拡大が引き続き見込まれるほか、NISAのスタートに伴う個人投資家層の拡大で、個人投資家向けサービスも堅調推移が望める。デバイス事業も、M2M市場の拡大でビジネスチャンスが広がっているほか、介護や農業など新規分野への展開を進めることで、大幅な増収増益が続くと見られる。

### 通期業績の推移(単位:百万円)

決算期	売上高	対前期増減率	営業利益	対前期増減率	経常利益	対前期増減率	当期純利益	対前期増減率	EPS(円)	配当(円)
10/12期	881	-14.8%	△45	—	△29	—	14	—	225.31	0.00
11/12期	1,125	27.8%	5	—	10	—	139	871.9%	1,971.25	0.00
12/12期	4,041	259.0%	178	3,014.6%	213	1,912.7%	425	205.8%	6,138.63	0.00
<b>13/12期</b>	<b>6,681</b>	<b>65.3%</b>	<b>354</b>	<b>98.9%</b>	<b>580</b>	<b>171.3%</b>	<b>558</b>	<b>31.4%</b>	<b>80.32</b>	<b>17.00</b>
14/12期予	12,407	85.7%	1,306	268.8%	1,302	124.5%	755	35.3%	107.99	15.00

(注) 13/12期において株式分割(1:100)を実施しております。

## 中期経営計画を発表、2016年12月期営業利益は30億円超の水準を目標に

2014年2月28日、2014年12月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を発表している。具体的な数値目標として、2016年12月期の売上高21,160百万円、営業利益3,181百万円、経常利益3,131百万円、当期純利益1,753百万円を掲げている。それぞれ、2013年12月期実績に対して、3.2倍、9.0倍、5.4倍、3.1倍の水準となる。また、中長期目標としては、売上高300億円以上、営業利益45億円以上、税引き後利益30億円以上、時価総額450~800億円を達成することを目標としている。なお、上記計画の達成を機に、子会社のネクスとともに東京証券取引所第一部への指定替えも目指す方針。

今後は、金融情報配信事業に加え、上場企業のIR受託業務のトップランナーとなり、「上場企業の経営課題ソリューション企業」へと転身を図っていく計画。アナリストレポートを中心に展開している企業IR支援サービスは、フィスコが目指す上場企業のビジネス・プラットフォームの基盤として最重要分野と位置付けていく。きめ細やかな企業情報を、広範囲に保有するインターネット上のネットワークへ配信するというサービスを通して、投資家と企業IRをつなぐ唯一無二の情報配信

業者となることを目指す。これは、企業のみならず投資家や消費者を含む巨大なネットワーク化を可能とするため、金融情報だけでなく様々なコミュニケーションが行われることとなり、単なるIRや情報配信を超えた様々なサービス・事業の機会を内包したものになると捉えている。

また、売上拡大に向けては、自律成長のほかにM&Aも積極的に推進する予定。M&Aにおいては、低PBRや高キャッシュフロー企業を買収対象として、企業価値の大幅な向上を目指していく計画。傘下のポートフォリオ企業の経営改善を実証しつつ、フィスコグループ全体も連結利益や資産上昇効果享受していくことを目指す。



佐藤勝己

株式会社フィスコ  
株式チーフアナリスト  
担当: 個別銘柄



# フィスコグループ企業IR支援サービス

## 企業調査レポート フィスコ



## PRサポート事業 ダイヤモンドエージェンシー



## IRツールサポート事業 ダイヤモンドジョイン



### 会社概要 (平成25年12月31日現在)

商号	株式会社フィスコ
本社	東京都港区南青山五丁目4番30号
登記上の本店所在地	大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号
代表者	代表取締役社長 狩野 仁志
設立年月日	平成7年5月15日
資本金	1,208百万円
決算期	12月

### 役員 (平成26年3月27日現在)

代表取締役社長	狩野 仁志
取締役	中村 孝也
取締役	松崎 祐之
取締役	深見 修
取締役	八木 隆二
取締役	佐藤 元紀
取締役(社外)	後藤 克彦
常勤監査役(社外)	吉元麻衣子
監査役	田野 好彦
監査役(社外)	加治佐敦智

### 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.fisco.co.jp/notification/index.html">http://www.fisco.co.jp/notification/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 株式の状況 (平成25年12月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,365,200株
株主数	3,050名

大株主(上位10名)	所有株式数(株)	持株比率(%)
シークエッジ インベストメント インターナショナル リミテッド	3,367,000	48.12
株式会社サンジ・インターナショナル	187,600	2.68
ケンジ ヤマグチ	161,500	2.31
三木 茂	129,400	1.85
朝田 英太郎	123,900	1.77
トムソン ロイター(マーケッツ) エス エイ	110,000	1.57
株式会社ケーエスピーホールディングス	100,000	1.43
日本証券金融株式会社	97,300	1.39
松崎 祐之	70,000	1.00
株式会社SBI証券	64,900	0.93

(注) 1. 持株比率は自己株式(367,600株)を控除して計算しております。  
2. 持株比率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

#### ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。